

## 第1学年 交通安全教育 学習指導案

### 1. 題材名 「交通安全教育」

### 2. 題材設定の理由

#### ○題材観

多くの自転車通学者を抱える本校にとって、安全教育は欠かせない教育の一部であろう。そのような観点に立ち、自分の命、他人の命を大切にし、相手をいたわる気持ちが大切である。自分中心の行動がいかに関他人の命を危険な状態に置いているかを実感させたい。具体的な自転車による事故例と VTR に写った自分たちの姿と重なるところがないかを確認させたい。そのような点を自主的に、能動的に発見すればこの授業の意義は大いに達成されるだろう。

#### ○指導観

自転車に関係した事故の具体例をできるだけ準備して、生徒に危険な場面を実感させ自らの行為を反省し、交通マナーアップを図る。交通マナーを罰則による受動的な指導にゆだねるのではなく、自主的かつ能動的に自分たちの交通マナーの悪さを発見することによって、積極的に交通マナーの改善を図ることを目的とする。

### 3. 目標

- ア 交通マナーに関心を持ち、その改善を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組ませる。
- イ 交通事故の解決に自ら思考を深め、習得した知識を活用して適切に判断し創意工夫する能力を身に付けさせる。
- ウ 交通マナーについての知識を身に付け、その必要性や意義を理解させる。

### 4. 指導計画・・・単元の配当時間 3時間

- (1) 事故例やVTRにより正しい交通マナーを身に付けさせる。・・・・・・・・・・1時間 (本時)
- (2) ビデオを視聴することにより命の大切さを理解させる。・・・・・・・・・・1時間
- (3) 警察官による交通安全教室を実施する。・・・・・・・・・・1時間

### 5. 本時の指導観

取り上げた事故例は実際に起きた事故であることを強調し、自分たちの自転車通学マナーがどんなに危険であるかを実感させるとともに、正しい交通マナーを身に付けさせる。

### 6. 本時の目標

- 交通安全マナーの悪い例を読んで、それらがどのような事故につながっていったかを確認する。
- 毎日通っている道路の風景を見ることにより、親近感を持ち、自分たちの交通マナーを反省し、正しい交通マナーを身に付ける。

### 7. 指導上の留意点

○VTRを見せて、生徒からの感想や意見が出にくいときには出やすいように工夫をする。

### 8. 教材 教師：交通事故の資料。通学中の生徒のVTR。

生徒：交通事故の資料。

8. 学習の展開（本時の学習指導過程）

	学習活動・内容	指導上の留意点	教材	配時	形態	評価
準備	プリントの配布。 VTRの機械の設置。		プリント	1分	一斉	(1)
導入	挨拶および出席確認。	出席を確認し、授業の体制を整えさせる。		3分	一斉	
展開	まず自転車通学生の自分の姿を見る。  数名の生徒が感想を発表する。  自転車の交通事故のデータに着目する。  数名の生徒が感想を発表する。	見慣れた光景、友達の姿を発見することにより交通マナーをより身近なものに感じさせる。  この授業の主旨に合った感想がでてきたら、それらを繰り返したり、板書したりする。  しばらく黙読させる。  この授業の主旨に合った感想が出てきたら、同感したり、頷いたりする。	資料 VTR・プリント	15分  15分  2分	一斉  各自	(1)
	生徒が教師と同じことをし、どのような事故につながるかを考える。	VTRを再生し、交通事故のデータに合致する所で止める。 教師はどのような事故につながっていくかを説明する。  数名の生徒に発表させる。		10分	各自	(1)
まとめ	自分たちの自転車通学マナーを認識、反省する。	自分たちの自転車通学マナーがどんなに危険であるかを実感しているかを確認する。 確認の手段として次はグループディスカッションをすることを告げる。		4分	一斉	(1) (2)
評価	(1) 交通マナーについて関心を持ち、その改善（向上）を目指して自主的・積極的・意欲的に取り組もうとしている。【関心・意欲・態度】 (2) 交通事故の解決に自ら思考を深め、習得した知識を活用して適切に判断し創意工夫をする能力を身に付けている。【思考・判断】					

